京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年 本紙 一ヶ月前金三十錢 △三ヶ月前金八十五錢 △[illegible] 廣告 一行[illegible] 月曜日及び祭日の翌日休刊(日刊)

發行兼編輯人 高木久太郎 印刷人 松久鶴一郎 發行所 京城[illegible]京城新報社 仁川支局 仁川宮町三丁目 東京支局 東京市[illegible]

●朝鮮下向記

マンモース

時は盛暑の午後三時、赫々たる炎の息を吐き盛に吐いて居る新橋停車場前の廣場に立つて僕は今や去らんとする東京に一瞥を與へた。然し此新橋を圍んで居る赤煉瓦の遞信省も銀座の博品館も名は古臼にもあらさうな烏森だけれども住めるは化性の紅ん鬼村も竟に何等の感傷をも惹起こさせなかつた、二百萬の人口を乘せて喘いで居る牝牛の背中から僕一人下りてやる位の感じで下の關急行に乘つたのである。

ギラ〜と油の漲べる樣な本牧沖を[illegible]の二三艘帆船相に歩いて居るのや、昨夜の暴風雨で電柱が田の中に寢轉んで居るのや、赤錆のレールの上を低く煤煙が渦卷いて居るのや、其等の間を縫ふて、汽車は暑いとも云はず、車の音が屈托なしで平凡な田舍拳を打つて居るかの如に調子づいて駛つて居る。ドンドンダシテ、バタリトダシテ、バタリトダシテ、ドンドンダシテ、バタリトダシテ、函根にかゝる頃爲に勢込んでドンドンダシテ、バタリトダシテ、ドンドンダシテ、ドンドン……と調子を逸ませ乍ら上つて行く。

頂上に近く頃夕方になつた。線路に沿ふて深溪の奔湍は皓く碎く折からの涼風に飛沫亂を打つて甚だ爽かなりである。函嶺重疊の峽々には銀光に縁とられた灰雲が立ち罩めて居る。此洞氣に浴し、彼の嵐香を吸ひ正に酒なかる可からず、デ、兼ねて用意のものを出して一杯一杯又一杯、傲然として山水の間に逍遙して居る時、天此遊子の孤懷を愛したのか、林間鮮かに落日を負ふた銀鼠色の羽扇山を顯はして與れた。僕も此厚情を深く謝して御殿場で酒と新にした鮨の[illegible]を購ひ、仰いで富天の靈山を眺め、俯して[illegible]を味ひ、一喫一口して居る間に[illegible]山は何處へやら隠れて了つた。[illegible]を食い乍ら呑んで居ると、三島驛着。

富士の白雪朝日で解けて、解けて流れて、三島女郎衆の手洗水に朝顏方の美しい顏が[illegible]停車場に[illegible]を見て居はせぬかと醉眼を睜たけれども何も見えなかつた。僕の自働の大なるものも果に煩惱多き我輩をして人事一切の事を忘却せしむる事が出來なかつたのである、茫然として辨當を食つた。

夜に入つて窓外の風物、目を娯しましむるものがないので、汽車中の讀物と思つて買つて來た、オスカー、ワイルドの新ローマンチツク、アイデアリストの叛逆者傳を繙く。汝に貴族的な榮華の生活から、[illegible]殿下、刑餘の流浪人となつて遂に巴里の陋巷に一人の看護人もなく窮死した一生は自ら云つて居る所謂現代藝術の現實的徴象である。ナドと思ひ乍ら何時しか眠。

馬關にして拂曉、サイダーを飲み又酒を買ふ。朝鮮下向は僕にとつては一種のデカタン的シンボルであると思ふので出來るだけ此行を粉飾したいのである。それで盛に考へ、盛に飲む。

大阪で繪葉書を求め三の宮で切手代を託して投函させた。何時の間にか又眠つて三の宮で醒起。汽車は瀬戸内海の翠微を隔てゝ駛る。糸崎より細雨降り[illegible]斜雨を隔てゝ翠色模糊。加ふるに座席漸く廣くなつたので大に寛ろぐ。斜めに彼方に席を取つた若き人妻の女房振りを物珍し氣に之を看に、チビリ〜やる、下宿の飯に命を繼ぐも思へば久しいものである。

三十時間打つ通しの汽車で煤煙毛髮に入つて頭頂百斤の重さを覺ゆる頃漸く汽車は下の關に着いた。

●人參栽植現況

……專賣局の蔘政方針……

專賣局開城出張所に於ける蔘圃植付及種苗の狀況を聞くに本年春季の移植三約十二萬間、種苗約十三万間にして空前の盛況を呈したり右三十二萬間の本圃は明治四十八年に至りて收穫すべく現在の收穫步合を以てするも水蔘一萬約十六萬斤を得る割合にて之を紅蔘に[illegible]約五萬斤[illegible]に對して本年は春季氣候適順にして一般に生育良好なるが如く還日の降雨に依り今日迄の所未だ少しも病害蟲の蔓延を認めず、種苗十三万間は年々設置すべき本圃に對しては過多なるも來年春季には新種補植せしめず本圃の[illegible]を目下五年四十六年の需要に充つ爲め年々本圃は三十萬間を超過せしめざる方針にて此の事業組合に示達したるを以て四十八年以後は紅蔘の生產額年々四万斤乃至五萬斤を得べき見込なりと、尚ほ四十年本圃移植六千三百十二間、四十一年移植五萬三千五百二十六間、四十二年移植十二万五千八百六十三間、四十三年移植十八萬五千六百九十六間合計三十七萬一千三百九十七間なるが前記本年の移殖三十二萬間を通計すれば實に六十九萬一千三百九十七間の本圃にして非常の盛況と謂ふべし而して今四十四年秋に至り收穫する紅人蔘は前記四十年本圃移植の分にして一千三百斤の見込なりと、因に前韓國宮內府より度支部が引繼ぎたるは四十一年なれば上記四十二年移植の三年根より故に明治四十六年收穫より度支部蔘政の實況を見るべき次第と云ふべし

●嚴妃葬儀順序

來八月二日舉行さるゝ嚴妃の葬儀順序を聞くに左の如し

諸掛員は八月二日午前五時殯殿三門外に參集の事△諸葬諸員は同日午前五時二十分迄に永成門內の休憩所に參集の事△同日午前五時二十分李王殿下李太王兩殿下靈柩前に玉世子殿下喪服著けられ同時に拜禮さるゝ事△同日午前五時三十分靈柩永成門出發諸掛員及諸葬諸員隨從の事△同日午前六時三十分靈柩宗廟前に於て暫時休憩の事△同日午前八時三十分靈柩普濟院に於て暫時休憩護葬諸員中式場參列を要せざるは各自退去の事△同午前靈柩永徽園到着諸用員及護葬諸員は各所設の休憩所に就く事△同午前十一時諸員畫食の事

●嚴妃葬儀人員

來八月二日舉行の嚴妃葬儀に對し大輿二運擔引軍三百四名肩輿二運擔引軍二百六十四名を初め全部總て一千三百二十六名を要すといふ

●輕鐵敷設請願

韓國瓦斯電氣會社にては東萊より釜山鎮を經て慶州に至り又慶州より大邱に至る輕便鐵道を敷設すべく計畫にて二十七日釜山府廳を經て之れが許可を申請したり工費總計二百三十萬圓にて第一期線は東萊慶州間五十一哩此工費百五万圓の豫定にて工事は許可の日より一年一個月以內に着手し一年六個月以內に竣成する筈又第二期線は慶州、大邱間四十二哩にして工費九十五萬圓を要し又慶州浦項間十五哩此の工費十五萬圓を要し此工事は許可後二個年以內に着手し一個年以內に竣工すべき豫定なり而して軌道の幅は二フート六インチにて單線と爲す筈なりと云ふ

●新刊紹介

△東京經濟新誌(千六百四號) 社說「平和主義か帝國主義か」「改正條約實施」「國債・地方債財」大隈伯の「商業道德に就て」等本誌は何人も注目すべき論なり(東京市京橋區彌左衛門町經濟雜誌社一部十一錢)

△書畫骨董雜誌(三十八號) 前田健次郎氏の「聖德太子に就て」岡倉文學士の「芳涯翁の逸事」小野鵞堂氏の「書道の獎勵」等あり挿畫寫眞版等又珍とするに足る者多し(一部十錢東京市本郷區湯島三組町書畫骨董雜誌社)

△青年之友(七月號) 中學校に學びつゝある者或は中學程度の教育を受けし青年は本誌によりて作文力を修養せば蓋し大に得る所あるべし(東京市京橋區西紺屋町新公論社一部六錢)

△少年(八月號) 記事の豐富にして內容の整頓してゐる事寫眞畫挿畫等に思ひ切つて贅を盡し且つ嶄新なるものを集めしは少年雜誌中本誌の如きは稀に見る所なり(一部十錢東京市京橋區南鍋町時事新報社)

△政友(第百三十二號) ブラッセーは海軍年鑑所載「倫敦宣言論」の譯載は政治家をして悦ばしむる者なり(一ヶ月十五錢東京芝公園立憲政友會々報局)

△無我の愛(第三十二號) 伊藤證信師の「我等は窮民也」「戰爭の進步」あり兎に角一風變りたる雜誌なり(東京千駄谷伊藤證信方我生活社 一部三錢五厘)

召使れ初

黑法師

第百十八回

「お、兄上でござりまするか」

お廣敷のお客の間を覗くと共に、お祭は斯く叫びて倒るゝ如く裡に入りぬ、裡面には兄助殿悠然と坐りてありき。

「[illegible]以ての外[illegible]、お父様には[illegible]りも致しませぬ、お父様のお變りもござりませぬか、お母様[illegible]もお變りはござりませぬか」とお祭は險みかけて問ふ中にも、心の不審は晴れさりき「什麼して、お入來でござりました喃」

「暫時見ぬ間に……」と助殿はしばし〜聲を呑みながら「能う達者で居やつたの」

「兄上のお變り無うて、此様に芽出度いことでござりませぬ」

「左様に芽出度いとばかりでない、今日これへ參つたは」と助殿は伏目になつて「其方へ相談があつたからぢや」

「私へ……何事でござります」

「其方もお父様のお手許を離れてから、數々苦勞を致した氣。大暑け飯倉下の呉服屋海老屋徳兵衛殿から聞いた」

「海老屋旦那様には一方ならぬ大恩を蒙つてござります、只今納棚に御奉公致し居りまするも、皆な旦那様大恩でござります」

「聞うある氣、委細は聞いた、只今御主人は中年寄れ道どのと云ふ、お慈悲深いお方さうな什麼よりも重疊ぢや」

「お歡び下さりませ、私見る如き不束な者を天にも地にも無いものゝ如仰せ遊ばして、夫は〜結構に露されて下さりまする、同じ御奉公を致すにも好い旦那様に[illegible]へ[illegible]すと、それで[illegible]」

「その幸福を疎ながらた聞きなされは何れはどの相濟かも知れませぬ」

「て、お父様天にも昇るやうお歡びあらせられたが、半月ほど前、風の心地とせられて、次第々々に重らせられる」

「おゝ、お父様」とお祭は顏の色の變るかな」

「うなたには聞かすまいと思ふたが、今朝の御容体、我常とも覺わねで、そ知らせに參つたぢや」

「而て何の様にお惡いのでござりまするす」

「初めは風邪の様に見ゆたが、近頃では勞咳……聞くさへも恐しい勞咳になられて、御典藥の半井法印様、そなたも顏を知つてあらう、お醫様丸[illegible]一服の秘藥でお回復なされか半井法印様、一通では御見脈を願ふことゝならぬが、御家老宍戸様のお力で、昨日お見舞ひ下されたわ」

「結構な事でござります、有難い事でござります、半井様の診察、何の様わらせられてござりまする筈」

「そなたには云ひ難いが、云はで協はぬ事、有体を物語る、[illegible]ぬ事[illegible]」

「お、お父様……」とお祭は[illegible]「[illegible]はござりませぬと……」

「早ても今日明日に、差し迫ると云ふでは無いが、早かれ遲かれ、彼方の鶴と仰せられたを聞いた時は、この胸が引き裂る々やうに思ふたわの」

「聞くもおそろしうござりませう」とお祭はは〜と涙を流して「私お父様に別れるのは否でござります、兄上何うしましよう、何うしませうの」

「甘様に云ふても致し方ない、今生の暇乞ひ、一度歸つて呉れやうかの」

助殿は思ひ込んで云ふ、お祭は返答の詞もなく愉然たり。

京城水道の斷水

其筋の反省を求む

一回ならず三回までも斷水して、市民全體に甚だしき迷惑をかけたる京城の水道は、其設備に缺點多き事、及び水道當局者が平素注意を怠りし事實を世間に暴露せしものなり。凡そ人生を此世に享け一日も無かるべからざるものは水なり、而かも此水に對して衛生上の觀念を缺げば、人生必須のもの反つて人生を害ふの媒介となること又甚だしからざるに因り、常に清潔の飲料水を得るに困難を感ずる市街地にあつては、公衆衛生上の最大要件として水道設備の必要を見るは、吾人の新らしく言ふ迄もなし、特に京城の如き水量極めて少なく偶々井水あれど雖も多く飲料として用ひられず、加ふるに鮮人の衛生思想未だ幼稚の域を脱せざる地に於ては、間斷なく水道を活用するにあらざれば、不測の患害を醸生すること無きを保せざるなり。然るに不幸なるかな京城市民は三回の斷水に遭遇せり、一回目は霖雨瀰々市中不潔の空氣を以て充され二三回目は霖雨霽れて烈日赫々人は酷熱に苦しむの季なり縦令當局者が應急の手段を講せしとするも、時節柄市民の歎き一層損害は蓋し覆ふ可からざるなり、若それ斷水の當時にあつて一度び火災起らむか、さなきだに水に乏しく消火の道唯水道に頼るの外なき京城の地は忽ちに焦土に化せずんば止まざるに至らむ、更に悪疫流行の時なりしならば如何と、想ひ來れば轉た吾人をして寒心に堪へざらしむ。惟ふに、曾てコールブランが京城水道に對する權利を獲得しをれる際我政府にして其權利を買得し、京城市の前途に鑑み市の發展に細慮せる水道を敷設せば今日斯る失態を見るに至らざりしならむ。然れども今更政府の不明を追咎するも詮なし、且又今回の失態を前經營者の水道設計粗漏の罪なりとするものあるも、是亦死兒の齢を算ふるに同じ。要するに今回の斷水は現經營者たる總督府水道當局者不注意の致す所なりと言はざる可からず。

當局者中には、斷水の責を不可抗力、即ち天災に嫁せむとするものあるも、吾人は總對に之に同ふする能はず、若し之を容認せむか、當局者は益々天災に籍よりて日常の用意を怠り、何れの時と雖も自から不可抗力に藉せむとするの弊を生じ責任を辭するに至らむ。現に當局者にして前經營者が水道に自己營利の具とするの意思なく單に權利を金にせむ目的より打算して設計せられたる水道、點粗漏の多かる可きに思ひ及し、平素注意を拂ひ毎に要所に埋沒せる鐵管に異狀なきやを點檢しをりしならば。焉んぞ斷水の大失態を生ずることあらむや。併し既往は復還らず、故に吾人は當局者に向ひ此際責任を明にし、今後に於て再び斯る事なきを警告して已まず。

東京電報

▲内閣交迭切迫　桂首相は輕井澤に避暑する以前に内閣を退き西園寺侯を推擧する旨の上奏を文書を以て閣下に致せりと傳へらる政局の期切迫せるは事實なるも桂が既に後繼者を乞へりとの説は容易に信じ難し

▲天候回復せず　低氣壓は新たに朝鮮海峡に現れ東北東に進行しありヤップ島の低氣壓北西に徐々進み居り天氣回復未だしと

▲總督出發の公電　寺内總督は李王世子殿下と同伴し二日殿下は儀終了後直に特別車にて京城出發東上の途に就く旨其筋に公電あり

▲政權授受と密使の往來　福島縣君より飛報あり東山温泉に靜養中なる長谷場純孝氏の許に西園寺侯より密使あり桂總理大臣は愈々去月二十七日閣下に伏して骸骨を乞ひたるが輕井澤より八月八日歸京の上八月二十五日政權授受に關し政友會幹部に面會する所あるべしと

▲英獨妥協　摩洛哥問題に關する英國首相アスキス氏の演説は危局を緩和したり又獨逸も其要求を低減して滿足の妥協を見るを得べしと

▲四國借款の前途　四國より滿洲借款契約に關し日露兩國に與ふべき保障に付英米兩國は其綱目に於て又獨逸は其主義に於て一致を告げたれば滿洲借款契約に之が條項を加ふるや或は借款使用の目的を列記せる詳細の規定を契約に記載し斯て借款契約は獨占的のものにあらずとの保障をなすべく佛國も之に同意すべし

▲高等中學方針　小松原文相は中等教育に關し語つて曰く高等中學校は四十六年度より毎年一校宛を新設し向ふ二十箇年間に完成の方針なりと

▲電鐵の正式引繼　電車局は八月一日正式に東京鐵道會社より引繼を行ふ筈なり

▲英國大使歸京　賜暇歸朝中なる英國大使マクドナルド氏は一日歸京すべし

▲總會無効訴訟　万朝報社は株主として東鐵會社の總會の決議無効の訴訟を提起せんとす

▲戸田式部長官の歸京　遣英宮殿下御一行より先發せる戸田式部長官は六日頃歸京すべし

●東郷大將倫敦發　東郷大將は叮嚀なる別辭を送りて二十九日英京を發しルシタニヤ號にて米國に向ふ

▲濟生會役員發表期　濟生會は八月上旬醵金額確定を告げ同二十日頃役員を發表するよし

雜報

●總督の東上期　東電は二日を以て寺内總督は王世子と同伴東上の旨報じ來れるが總督府員は總督の出發は三日に内定し居れり其の後變更の事を聞かずと語れり

●總督と隨行員　近々寺内總督東上に付隨行員は外波少將中山大佐兒玉秘書官藤田副官に内定せりと云ふ

●定例長官會　一日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き寺内總督、山縣政務總監、各部長官及同代理明石警務總長俵副總裁列席政務の打合せを爲し午前十一時散會したり

●南極探險義金募集　本南極探險隊の一行は目下濠洲シドニーにあり露營を張りて其内に起臥し只管本年秋季再び極南の天に向はんとを熱望しつつあり、然れども今後同隊をして其目的を貫徹せしめんが爲には尚七萬五千圓の資金を要するを以て南極探險後援會にては此際能ふべき丈政府の補助を得んことを欲し百方盡す所ありしも其意志を達する能はず終に再び民間有志諸君の援助を請ふ事となり會長大隈伯は義金募集の趣旨を發表せり江湖有志の士は此事業の性質が世界列國環視の間に行はるるものにして此事の成敗如何は直ちに國家の榮辱に關する大問題なるを察し續々義金を寄贈して可なり尚寄贈義金は東京市神田區錦町三丁目錦輝館内南極探險後援會事務所（振替口座東京二一、三九〇番）又は東京日本橋區通一丁目森村銀行宛寄送せらるべく寄贈金額は之を新聞紙上に廣告すべしと

●大屋氏辭任打消　大屋鐵道局長官辭任の噂あるに對し官邊にては同氏が辭意を洩せしは事實なるも近く辭任發表さるべしとは全く世間の臆説に過ぎずと打消し居れり

●經學院に對する訓令　寺内總督は子爵朴齊純を經學院大提學に命ずると同時に子爵李容植を副提學に命じ左の訓令をなせり

今回經學院を設立したる趣旨は其の規程の示すが如く經學を講じ文廟を祀り敎化を稗補せしむるに在り之に依りて宿に高德篤行の耆宿を優待し以て儒林を督ひ頑學を重ずるの美風を推奬せむとするに止まらず又進で彝倫の扶持人心の啓發に資する處あらしめむとす其責任重且大なりと謂ふべし

惟ふに孔孟の道は仁義忠孝を主として實踐躬行を尚ふ後世斯道を唱ふる者往々經爲徒食に陷り空論横議を事とするに至りたるは喋異の餘弊に過ぎざるのみ今我　天皇陛下國帑二十五萬圓を賜ひ經學院の基金に充てしめらる　聖旨の優渥なる感激に堪ふべけむや其の職員並講士たるものは徒に書を讀み祭を司るを以て足れりとせず宜しく身を以て陋習鄕黨の儀表となり其弊風を矯正し以て一般敎化の稗補を助長し以て遺憾なきを期すべし

●平壤鑛業所の現況　記者昨日入京中なる平壤鑛業所業務課長技師吉川岩喜氏を山本旅館に訪ふ氏は懇に記者を迎へ記者の問に對し諄々として平壤鑛業所の現況に就て語る大要左の如し

▲今明年の掘採高　平壤鑛業所本年の豫算は五十餘萬圓にして其の採掘高は十萬噸の豫定なるが内九萬噸は德山煉炭製造所に供給し殘餘の一萬噸の内の六千噸は煉炭として各所に供給し四千噸は塊炭のままこれまた市内各所の需用に應ずる豫定なり而して來年の採掘豫定高は十一萬噸にして前記德山煉炭製造所の需用大部分を占むべく從がつて豫算の如きも幾分膨脹するは言ふ迄もなき所なり尚本年度替り（四月）より今日に至る迄の採掘高は約三萬噸なるが一見月割に比し僅少の如く思はるれど平壤地方の勞働者は春季より秋季に掛けて地方に出稼し冬季即ち結氷期に至りて歸り來り勞役に從事するもの多きを以て冬季の作業の意外に捗るに比し昨今は意の如く進捗せず從つて漸く月割七萬五千噸臺の採掘を以て甘んぜざるを得ざるなり

▲撫順炭との差　朝鮮の鐵道は一般に撫順炭を使用し居れるが鑛業所にては昨年二月念の爲め鐵道管理局と交渉の上從來使用の撫順炭と平壤炭との效果の差と試驗せしに其の結果は撫順炭百斤に對し平壤炭四十斤の割合に相當し優に好成績を收め况んや價格は平壤炭一噸十圓内外に比し撫順炭は幾分廉く八圓内外なり

▲寺洞と高坊山　先年採掘地たる寺洞、高坊山の炭層を測らんため約四萬圓を投じて外國より鑿孔器二個を購入し將來寺洞に於ける炭層の鑿孔工事に從事し漸く昨今に至りて一號に於て六百尺二號に於て五百尺の深さを見るに至りたるが二號は尚進んで三百尺程穿鑿すべき豫定なり併し穿鑿工事費意外に高く一尺に就き十圓乃至廿四五圓を要し其の費用却々に莫大なるものなり

▲來年度の計劃　平壤より江東に至る十四哩即ち大同江の兩岸に三十個所の炭區ある事を發見したれば五ヶ年間の豫定にて之れが實地採掘鑛及採掘を計劃したるが當路の意見に依り二ヶ年半に短縮し來年度の議會に上す豫定なるが豫算にして許すあらば早速採鑛に着手する豫定なり思ふに該炭區は將來有望のものと想像さる因に昨今使役する勞働者は一千人にして全部朝鮮人なるが冬季は二千人に達するを例とす

●水道修理の困難　京城水道の破損箇所は三十一日午前一時頃修理竣工し一先通水を開始したるも一日午前八時頃に至り去月十七日破損したる個所に又々相所を生じ漏水したるにより俄かに當局者は前後の策に困難するに至りしが取り敢ず姑息ながらも幽樋の修理をなすことに決定し目下工事を督しつつあれば多分一日午後六七時頃迄には少許の通水を見るを得べしと云ふ

●水道修理と當局者　京城水道は別項に記載する如く卅一日の破損個所を修理すると同時に更に以前の破損個所に故障を生じたるため到底姑息の修理にては今後完全なる通水をなし得べからざるを以て此際充分に修理工事を施さざる可からざるも此場合には少くも廿日乃至一ヶ月間の斷水を決行せざるべからざるを以て當局者に於ては其方法に關し目下協議中なりと云ふ

●總督邸晩餐會　寺内總督には一日午後七時より同官邸に前木内農商工部長官を主賓とし倉富、石塚、荒井、宇佐美、小松の各部長官渡邊高等法院長、國分檢事長、池田通信局長官、明石警務總長、京城控訴院長、菊池長官代理、小林長官代理、俵副總裁を招待し晩餐會を開く由

●總督の殯所參拜　寺内總督は二日嚴妃の葬儀に會葬する能はざるを以て一日午前十一時半外波、中山兩武官、兒玉秘書官、藤波通譯官を隨へ德壽宮に赴き殯所にて嚴妃の靈柩に參拜されたり

●嚴妃の葬儀　嚴妃の葬儀は愈々二日午前五時三十分靈柩永徽門出門午後一時洪陵の園所に到着同二時埋柩式を行ふ

●嚴妃葬儀委員長　葬儀主宰者は典祀長官其任に當る筈なりと云ふ

●嚴妃葬儀と會葬者　某宮官の談に依れば御近親及關係者の會葬約一千名内外なるべく外に女官六十餘名係員二百四五十名にて如何に多くとも二千名には達せざるべしとなり

●葬儀と造花贈呈　今二日嚴妃葬儀執行に際し桂公爵、伊藤公爵、渡邊宮内大臣、寺内總督、大久保大將、山縣政務總監、曾禰子爵、河村宮内次官、東本願寺法主、西本願寺法主、愛國婦人會其他より見事なる造花を贈呈したる由

●賓所の設備　二日の嚴妃葬儀に付接伴係にては一日早朝より會葬者の當園所に天幕を張り休憩所を設くる等種々の設備に多忙を極め居れり

●嚴妃葬儀の祭祀　葬儀執行後に於ける祭祀は朝夕園所に於て行はれ一年目を小祥と云ひ三年目の大祥祭祀を終了の終なりと

木内氏送別會

近來稀なる盛況

今回病の故を以て農商工部長官を辭し不日歸東するべき木内重四郎氏の爲めに當地官民重なる人々の發起に因つて成立せる同氏送別の會は三十一日午後六時より京城ホテルに於て開催さる當夜の參會者は總督府及び軍司令部の文武諸官中樞院各顧問及び各朝鮮貴族各銀行會社の代表者實業方面の代表者民間有志者及新聞通信記者等四百餘名にして午後七時食堂の開かるるや倉富司法部長官は發起人を代表して木内氏に向つて左の送別の辭を述ぶ

倉富氏送別の辭

木内閣下自分は發起人の一人として今夕此處に參會せる一同を代表して閣下に送別の辭を述べるのであります、閣下よ自分が發起人の一人として如斯事を申しては甚だ敬意を失するやも知れぬが實は今夕の閣下の送別に付ては我等發起人は一方ならず苦心をしたのであります、ソレが何かと云ふに先づ第一に閣下の送別になるを以て其多數の參會者のあるべきは必定なる會場が無い事に就てであります而るドコ彼所と探した末適當の場所を見出し得ず無餘儀此所を會場と致しました而るに今夕は私共の豫想せし如く多數が參會して此大食堂の外に幾つもの別席を作りソレでもまだ足らないと云ふ有樣であります。木内閣下思ふに今夕私などの發起なるに拘はらず斯く多數の參會者を見たるは實に之れ皆一同が閣下に對する惜別の情の厚い事の然らしめたのであります。木内閣下、閣下が三十九年統監府の開設以來農商工部總長として將た内部次官として續いて農商工部長官として半島經營の爲に盡されたる功績は實に偉大なるものであります、而して閣下一昨年以來病を得今回途に官を辭せらるるに對する之れ半島の爲に亦た我々の爲に大に惜しむべきであります、併し已に健康恢復の必要上官を辭せらるる以上は今は何とか云はん只閣下が御歸京の上は勉めて靜養せられ再び國家の爲に盡すところあらんことであります云々。

倉富氏送別の辭を了るや子爵朴齊純氏鮮人側と代表して惜別の辭を述べ續いて京城民團民長古城管堂氏民間を代表し木内氏に向つて氏か在官中の盡力に對する感謝の辭を述べ了つて木内氏は起つて左の答辭を述べたり

木内氏の答辭

閣下並びに諸君今夕はツマラヌ私の爲めに斯く盛大なる送別の宴を開き下されたることを身に餘る光榮として感謝致すのであります、私は不幸にして一昨年以來神經衰弱症に罹り喧さい營職爲すなき身分は益々無面るに今日まで碌々として職を瀆して居りましたに幾分にても國家へ御奉公を致したいとの考からでありましたが今回幸に辭職を聞届けられまして漸くにして閑地に就き必要なる靜養を爲すことの出來るようになつたのであります、私は歸東後當分は何事も爲さず只管靜養に勉める積りで健康の恢復するあらば其時に於て亦々奉公の道を盡さんとするものであります茲に謹んで今夕の御厚意に對する感謝の意を表します云々。

次いで倉富氏の發聲にて一同シャンペン杯を擧げて木内氏の健康を祝し茲に宴を了り一同庭前に出て花火其他の餘興を見散會したるは午後十時なり

●文官試驗委員任命　二十九日附を以て臨時文官普通試驗委員長外事局長小松緑氏外委員に各道事務官任命されたり

●奥技師の行程　廣梁灣鹽田視察中なる奥技師は同地の視察を終へ三日歸京の上四五日滯在し歸東の途に就くべしと云ふ

●新任教監の入京　本年度公立普通學校增設に伴ひ新に内地各府縣より敎監約百五十名を任命したるが其の一行は愈々來る五日迄に入京不二、九州、東部、東京、佐伯の各指定旅館に投宿する筈

●高田警視の歸任　南鮮地方水害狀況視察中なりし高田警視は三十一日夜歸任したり

群山通信（七月廿九日）

◎久しく社内紛擾の爲め其筋より一時發行を停止せられたる群山日報は其後當地有力者の調停漸く其效を奏し今回愈々社内の大改革を行ひ來月四日より新聞を發行することになりたりとは先づ以て目出度儀に有之候併し未だ其改革の内容及何人が主として經營の任に當るかは未聞に有之候

◎上記の如く群山日報も愈來月四日より再び生れ出づるものとすれば吾人は同紙に對し聊か希望の點有之候をと換言すれば即ち新聞なるものは社會の指頭取たり先覺者たれば同樣努めて從來の如く自家の經營の爲めに引ずられ自ら事を社會公共に及ぼすが如きを避け一意專心社會の木鐸たるの任務を盡し所謂天下の憂に先ちて之れを憂ひ天下の樂に後れて樂むの雅懷を以て名實共に群山の指導者たらんことを希望に不堪候（笑面生）

▲茶殼▼

▲寺内總督は王世子殿下と同道、茲一兩日中に歸東さるるツウだ、サテ此次の來任はイツか▲京城水道の斷水には困まつたもので、鐵管破裂を原因とせる、過日來の斷水がようやく今朝で仕舞つたかと思へば、あらう事かあるまい事か此間に破裂し〔修繕と加へた鐵管の破損所が又々破裂〕に及んで二十日間の斷水を要する事になつた▲アー本日の社説にもある如く此炎暑の候に水攻はヒドイ、若し惡疫が起り、大火災があつたら、之れ誰れの罪か、國帑三百万を投じて折角手に入れた水道も今の儘なら一層無い方が良いよ▲各監獄が構造不完全と狹隘の爲に囚人中に病者の多いことは事實だ、殊に永登浦監獄に於て二百四十の囚人中百二十の病者とは驚いた譯でコレでは丸で監獄ではなく病人製造所だ▲三十一日夜京城ホテルに於ける木内前農商工部長官の送別會は近來の盛會であつた、而して倉富司法部長官が送別の辭を述べたるときは滿堂寂然として水を打つた如くであつた▲倉富に續いて民長の古城が民間を代表し木内に對して感謝の辭を述べたのは極めて良かつたが、古城の次に朕見とか云ふ男が、場所柄をも辨へず、大聲で何か判らぬ事をシャベッたのはブッコワシであつた

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
七月一日	一八八、四二四、一六〇	七三回

仁川港出入船舶

▲薩摩丸　二日大阪より入港
▲晉羽丸　同　横濱より入港
▲蒼龍丸　同　芝罘へ向出港
▲吉辰丸　同　長崎へ向出港

公人私人

▲柴田希吉（三井山林課長）三十一日天興樓へ
▲柴藤次郎（陸軍一等看護長）同上
▲宇多徹雄（金融組合理事）同三日月旅館
▲荻谷籌夫（朝鮮新聞社長）滯京中の處一日朝下仁
▲原田靖雄士　滯京中の處一日朝出發大邱行

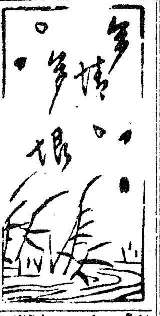
▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（卅一日分）
乘車客　六〇六　降車客　七三三
乘車賃金　一五三四、五〇〇

▲南大門驛貨物發着高（卅一日分）
發送貨物　四五噸　到着　四七〇
貨物賃金　四五一、四五一七〇

▲龍山驛乘降客（卅一日分）
乘車客　二二七　降車客　二三〇
乘車賃金　一九四、一七〇

▲龍山驛貨物發着高（卅一日分）
發送　七噸　到着　六六五
貨物賃金　二五二、九三〇



京城藝妓の半生 清華亭 丸子（一）

彼れが彼れ手々を誰にコーチャントン訓い……てニコ〳〵と靨もなく笑つて居る所を御覽に成つた初對面の時に伺う云ふ風に致しましたか致ぎ聞ふ、答へて曰く「十四五の可愛い頃に初々しい兒である、斯ふ云ふ娘を何罪科あつて斯う云ふ稼業をさせるのか鬼の樣な親の心が恨めしう感じられた」然り實に然りである、千人が千人左樣云はれる、然るに事實は豈に圖らんやの驚き、飼れであ る、其次第を物語らん程に餘程健平して承はられよ、現に或る少壯法律家は彼れの初々しい所に打ち込んでアワヤ關係ぜんとしたる時しも或る人あり彼れに說くに丸子の油斷ならざる其道に掛けての尤なるものなることを以てしたので彼れは岩田君の失敗に思ひ當つて藝妓は小供でも油斷のならぬもの關係せぬに限ると悟りが開けると身慄ひした而して出した手を引つ込めて終つた、其の辣腕家の丸子は當年取つて芳紀タツタ十八歲である、普通ならば十八歲と云へば小供だが藝妓は小供でも油斷が出來ない小供の彼れは實に清華亭の杜石であるのだ、廣島市國泰寺町二百七十八番地に田中定吉の二女とし……

[illegible]

鼠と云ふ仲居れつるに

……家の大黑柱と此れが教育を仇名を白……出して見ると思ふた……ある更らに指導……托した、天才を以てした……のだから其の發達……た、般々乎として……遊ばるゝ紳士諸君……にもヒヤ〳〵して……て其の初々しさに……

第一流の金滿家の令息

……があつた、毒を食へは死ぬものである、其毒を食つた人は誰であらうか。

●女房の損害賠償

▽俠の好い王代請求

原籍山口縣熊毛郡……賣村西村ひさ（三三）は元仁川仲町岩田……旅館の女中に雇はれ居たる事は知るなら……彼は大の莫連女にして……も棒にも掛らぬ……酒は呑む博賭は打つ情夫在ひはする……と云ふ生れ附て……所輕で同旅館にても……持て餘し居たる……なりしに緣は異なもの味なもので尻の輕いのが取り持つ緣と成たのは當時同旅館に宿りたる……佐藤某……とやらが下仁の……道官舍の佐藤某にチロツカイを出し……遂に公然の夫婦ひ思はるゝ変情と成り……始まり互に想……の同樣にひと睦……程に佐藤の父……商買をなしつゝ……

[illegible]

●巡査志願は駄目

▽素行身元調べの結果

如何に戀なればとて肉身の伯父と生れし身を以て現在の姪と私通し數年間遂れ添ひたる何科なき妻女を放逐し不義快樂に耽るとは人とも覺へぬ仕業なりかし原籍山口縣阿武郡萩町生れ當時旭町二丁目韓寺附近に住む佐伯某と云ふは當年取りて三十七の男盛り彼の日露の戰爭にも召されて功を以つて勳七等に敍せられたる名譽の者なるが先頃朝鮮總督府巡査志願を思ひ立ち夫婦伴れ渡鮮したる者にて此の頭に至り略々望みも叶ひ相い運びしより當年十九歲に成る自身の姪綁子を呼び寄せたり妻君の花子と云ふは當年二十七とかなるが夙に同人に嫁し其の從軍出征中も堅く貞操を守り其の無事歸還を氏神に日を待ちたる程の女なれば何不足もなかりしに素足にて百度さへ踏み只管宮報るべきに實姪綁子を呼び寄せてよりは何かに附けて辛く當り散らし出て行けがしに扱ふも道理彼れはあらうことか妻君の眼を忍びて不倫あるまじき交を結び居れるなり斯くと知りたる花子は世間の手前面目なしと思ひ詰めて遂にヒステリー症に罹りたるに無情なる佐伯は其の非行を改めんともはせず邪魔者として遂に放逐したる由此程發覺し巡査にも採用せられずなりしとは不倫の報ひ覿面なり

●水道例に依り斷水

水道の斷水に因り市民全般の衛生上に危險なるは勿論なるが湯屋其他料理屋飲食店の迷惑名状すべからざる有様にて殊に時候柄の事とて一層不便なるが三十一日午前より鐵管破損の爲め……

[illegible]

●放火して殺人

京城……（十二）……

●京日社勸進相撲

……

……五月三十一日午後一……を罷たり……は本年一月十三日の夜……居宅に放火し……

……

十年間損害賠償を請求せんとし一ヶ月六圓と見積り七百二十圓支拂ふべしと目下係争されさ〳〵なりなしと云ふ去りとは實直な佐藤こう其に憐むべくしも彼西村其他の執着の處置こう惡みて餘りありと云ふべし

時の曾億萬の長男億用を殺害し其の筋に檢擧され京城地方裁判所に於て懲役十五年に處せらる

●本當の出來心か

去月廿八日午前一時三十分頃仁川龍洞にて鮮人二少年の擧動不審なるを佛徊し居たるより佐藤巡査は派出所に引行し取調べたるに鮮人は京城南部蒼洞十二統八戶金永植長男金万千（一六）同奥洞李明五（一四）にて金は身分不相應なる懷中時計及び龍洞川上質店に洋服一揃入質五十錢等の質札所持し居るより嚴重取調べたる處去二十七日京城南大門外の路傍に脫ぎあり洋服及同ポケツトに入れありし銀側懷中時計を竊取し仁川に來りウロ〳〵し居た事判明し直ちに本署に引致し野村警部取調の上一日檢事局へ送られたり

●遭難船判明す

去月十二日群山木浦間のチヨボ島沖にて原籍長崎縣南高來郡南有馬村回漕業宮川種八の所有船第二幸福丸は船長中村一六（四六）及び種八の息宮川賢吾及び補助員當時仁川新町二丁目石橋半次郎等の五名は暴風雨の爲め難に遭遇し第二幸福丸は遂に激浪の爲めに呑まれ轉覆したるより危き命を傳馬船に轉乘し辛くも九死に一生を得同島に漂着し特に群山警察署の保護を得て一同無事歸國の途に就けりと云ふ

●新妓と休業

仁川八阪樓より昨夜から現はれたるは廣島縣廣島市鍛町中村つね（三三）が駒藏と名乘りを揚たり▲仁川で只一人の半玉錦樓の雛子（十四）は近頃の熱氣に暑さ當りで病氣休業

●鮮人少年の竊盜

仁川龍洞鮮人億千二男高仁任（十五）は龍山元町四丁目大工鐵道岡治助方に子供奉公として雇はれ中去月十七日同家にて五圓紙幣を竊取し其儘家出逃走し居たるに三十一日實家に歸り來り居たる處を仁川署の巡査に逮捕され取調の上一日檢事局へ送られたり

●醉て一圓五十錢

鹿兒島縣河邊郡加世田村二百四十二番地當時南大門通り鮮人宿止宿外河原武一（二五）は七月三十一日午後五時泥醉して市中を徘徊し通行人に妨害して過料金一圓五十錢に……

●懷中時計拾得

銀側十二形鎖付時計一個の遺失物あり心當りの者は龍山憲兵分隊へ屆出づべし

……

●精力腕力を壓す

▽京城藝妓の席順

主情は實なし〳〵や此に通ふ代幣の主張はせぬの口説き操は賣らず肌は許せぬ、野暮が自惚れの獨り縮め括り、三味線の下手の餅やキリ〳〵堅い好きも嫌ひも一樣に曳かれた袖に其れも亦洗の水に流して色にも出さ……よかりそ……僞に膝に凭れて秋波やイケ好かないよと力任せに極め附けるさりとは痛いグり〳〵も時と調子を誤かねば言男之れを我れは思召あるが故と御功德なりとて思ひの丈けを賀錢に裏んで我れかち買つてデレの幕、其の立女形が七月中に賣り申した賣高に依る中檢藝妓の席順を揭ぐれば野暮に左の如し

秀香（れもちや）（樹）（てる）羽、時松（松）君子（花）若龍、れ多龍（常）蝶々（井）勝利（花）政子（井）しづ江、江戶奴（樹）今奴、秀奴（清）れ染（樹）金五郎（清）光奴、照子、若一、勝子（花）

次に古城券番の札順を見るに勿驚桃害閣の小鈴が衆の定第一席を占めて其の精力と誇り顏なるぞ恐ろしき續いて喚太郎、しづ（淸水）菊枝（菊家）はま（花家）吉彌（つた家）政彌（清水）梅助（玉家）喜代次（菊家）榮次（玉家）

●演藝だより

●龍山座 大坂二〇加、曾我廼家の合同劇八月二日の代り狂言は「忍び妻」一場、「千郞のにぎわい」四場、「安達ヶ原」三段目本櫻道行の段一場、等にして重なる役割左の如し

……一物秋、妓夫定七、……

●壽座 木村猛夫一行八月二日の替り狂言は「薔薇」四幕「喜劇いきち」三場にて重なる役割は左の如し

夫人雪枝（君子）法學士（寺田）竹村男爵、桃井、穂積子爵（木村猛夫）……藝妓千駒（澤井）築木……

●浪花館 浪花光廣一行の浪花節は連夜の大入御禮として向ふ三日間木戶錢代とも無料として大勉强にて演ずる由なり讀物左の如し

播州皿屋敷（國遊）天龍川の仇討（鶴治）水戶黃門西國漫遊記（浪花光廣）

……

▲眼光豆の如き仁川一官吏よ人を罵る以前に先づ自己の如何なる人物かを顧……約束を重ずる官吏にしながら今日に至るも未だ其約定を履行せざるは……面を冒すものなり（茗）▲吾輩は十一圓五十錢である吾輩と友達の十九圓五十錢とを店頭で比較した人間がある然して吾輩を上等品と云つて重寶がつて居る吾輩は心中可笑しくてたまらなかった何んて人間てものは解らないのだらう

後で聞けば夫れは一官吏と云ふ盲目だそうだ（トランプ）▲何の事かと思つたら仁川明治屋本店の前の一件か一官吏たるもの又輕蔑するなかれ▲下記の處へ御來訪下されたし……▲仁川の……屋た紳士……田に係る事を申し居たが我國に同……

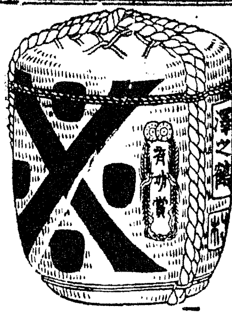
……府廳の土地課の下……

路粗暴取扱不親切をなしたとかや人民から苦言を以て忠告せられあるを觀て胸がすいた……前を……浪人澤小の京城……に沫惑させぬ……告す（日聞生）▲昨……ブラツイて居から仲居さんが引張つた引張るなら引張りもいゝが人の袖まで千切り裂くには當るまい今後同樓前を通行する人は充分御注意あれ紙上を借りて諸君に御注意（破られた男）

諸公債諸株券 ●現物賣買、迅速確實に御取扱可申候兼業
既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目 大阪野村商店代理店 田中友吉商店
電話九九三

大阪市東區平野町二丁目
醸造元 石崎合資會社

名を呑な酒を呑め



中毒を恐るゝものは 澤の鶴を呑め

朝鮮京城本町二丁目
一手販賣 佐藤牧商店
振替二九番（電話二九番）



●かれこれと迷ふこと勿れ 完全無缺の大學目藥あり

大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基き貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●黴目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり

發行所 大阪市北濱一丁目
元 ヘブリン丸 本舗 參天堂藥房



代理店 京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九百四番 千六十八番
振替口座 京城 十六番

瓦斯コークス販賣
京城黄金町高等演藝館前
酒井組
電話一二四九番

宅地賣物 町に九十坪

猥りに村井弦齋先生を利用する類似品あり
注意
本品の外・村井先生の實驗證明せられたるものなし
村井弦齋先生實驗證明●糠精●と命名せらる

かつけ 心臟 腸胃病 特効食料 糠精

證明書
尾崎兄弟飼禽場ニ於テ試驗ノ結果尾崎氏製糠精ノ脚氣心臟胃病ニ偉効アルコトヲ證明ス
明治四十三年六月一日 陸軍一等軍醫正ドクトル都築甚之助印

●製造發賣元 東京千駄谷尾崎兄弟飼禽場●各市藥舖食料品店にあり
販賣元 東京麻布霞町宮崎商信堂藥舗 大阪出張所 大阪北區堂島船大工町一
特約店 京城本町三丁目 龜屋商店
振替口座朝鮮二七番 電話二七番
同 釜山辨天町二丁目 福榮商店
振替口座東京九五一五番（電話三三九番）



本邦學界の名譽 世界の醫藥兩界に誇べき 一大發見

○本品は藥學博士が多年研究の結果發見せられたるものにして加ふるに上記專門諸大家に依つて藥化學的試驗及臨床的實驗等に於て從來公知のバルサム劑に比較し斷然卓越し胃腸障害等の副作用を絶對に誘發せず利尿の效尤も著しきが故に泌尿器疾患殊に淋毒性膀胱炎、尿道炎、淋病に偉効を奏する理想的治淋劑なり
○本品は價液五百瓦、二百五十瓦、百瓦、廿五瓦、カプセル百粒、五十粒三十粒入の七種あり
▲到處有名藥舖に販賣す、說明書無料贈呈す

發賣元 東京銀座一丁目 ツヨール商會
振替貯金一九七二九番
韓國特約店 京城本町一丁目 山岸天佑堂
電話三七二番
振替貯金口座二〇三番

英國セッフヒールド市シーボムアンドデイキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鶯印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種

右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候

京城本町五丁目
和洋金物商 㒵 釘本藤次郎本店
電話四五番 電信略號（ク）振替貯金口座京城二五六番

高等貸馬車開始廣告

本店 當地營業所
高等馬車製造業
京城兜町一番戶 蔭監獄前
（中部仁不坊會與洞第八區第卅號）
電話一四三九番

李王職御用 總督府御用 帝國馬車商會

[illegible]

京城大門通三丁目 効能ある溫泉

浴用効能 りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せんき、かつけ、ひびよう、ばいどくせいできもの、ひんびよう、しようかち、しきゆう、ちのいたみ、つきやくふちゆん、せんがんかさ其他皮膚病一切
外用効能 きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、ちきづ、ひぜん、はのいたみ、いんきん、たむし、うおのめ
内用効能 ひんけつ、しんぞう、おびよう、ちよかたる、いつう、りようきちす、いびよう、はいびよう、たうだん、かつけ、しんけいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきう、酒のよひ

旅館 浴客 貸席 京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手（電話一四一一番）
鐵冷溫泉

DIGESTIN
新消化藥デゲステン
日、英、米、獨、佛、伊、白、印、加、墺、瑞、濠、十三ケ國 政府特許 專賣
▲銀賞牌受領！（日英大博覽會に於て發明品博覽會）
本品の特效は彼のヂアスターゼと異り單に澱粉質のみを消化するものに非ずして克く食物中の主要成分たる蛋白質をも完全に消化し血中へ吸收せしむる世界無比の腸胃最新藥なり▲販賣所は各地藥店にあり（說明書は御申込次第進呈す）
發賣元 東京市日本橋區本町三丁目 合資會社 圓城商會

義齒術一般
京城明治町一丁目（森、村質店隣）
榊齒術所
電話は（六六九番）へ

電柱、枕木、橋梁、土臺、根太、板柵、床板、羽目板、門塀、流シ、物干シ其他地中水中等に用ふる木材へ塗抹し其命脈を永久保持す

木材防腐劑

和製プレザアリンは當商會特製品にして品質優良配合調和正確然して價格は舶來品の約半價なり●詳細說明書は御申越次第送呈す
和製 プレザアリン
英國製 カルボリニウム
英國製 ストツプロット
米國製 ウーヂリン

發賣元 東京京橋元數寄屋町三ノ五 渡邊商會
電話新橋二一三八番

家傳 かつけ 胃腸病灸治
●小生多年東京仁壽病院に於て實地治療に從事罷在し處左記へ開業専心實地治術に從事す
●マッサージ治療（節諸病●神經痛●其他頑固病疾に著効）本灸は一子相傳の秘法經驗神の如く同病者は來れ毎日午後一時迄に罷在候
うらみはねつぎ●
（東京仁壽病院摩擦術部 京城出張所主任技術師）荒川辰四郎
産婆 荒川元子
京城明治町一の百十（電話は一五八七番へ）

英國製

直輸入新荷着
實用車 コンマンダー號
歐米各國自轉車 直輸入商
京城本町二丁目
織居商店自轉車部
電話四八〇番（電略オ）

朝鮮名産
鶴乃菁
（鶴の骨細工種々）
（鶴の羽細工種々）
（朝鮮土産品種々）
京城本町三丁目（電話二五〇）（振替朝鮮四八）
製造發賣元 海市商會
特約發賣元 京城本町四丁目（電話九五六） 日之出商行
特約發賣元 京城本町六丁目（電話二一〇） 西崎本店

龍山漢江通百十一番戶
每日午後二時より五時迄出張 但し先代よりの家傳と當時の治術とを斟酌し如何樣の折骨脫臼も之を治療せしむ
整骨專門治療院
主任醫 村田泉之一
先代の門弟 助手 中野伊之七

紙 と 印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
京城本町六丁目
播本商店
電話百拾番

▲營業案內▼
●定期賣買は秘密を嚴守し御註文に應す
●現物賣買は弊店が多年の經驗と特有の技能を以て如何なる御取扱も可申候間何卒多少に不拘御用命の程奉希上候（一覽表は御申越次第進呈）
各種有價證券問屋
二晉野峻輔商店
京城南山町三丁目
電話一四〇九番

營業項目
牛乳搾取業 家畜飼養繁殖 畜産物賣買 家畜飼料販賣 種牛種付及貸牛 其他畜産業一切
京城南大門外 荒井牧場（電話一〇五六番）
江華島 荒井第二牧場
○牛乳販賣は京城牛乳一手販賣所へ委托致候間從來通御用命希上候
○洋牛及朝鮮改良種牛各種販賣致候間御買求願上候

營業科目
東京竹內製金庫
東京塩井騰寫版
喞筒並ニ消火器
手提金匣
器械的文房具
複寫紙及複寫簿

弊店は前記各品專門的に營業仕候故に價格は極めて低廉にして品物は潤澤に取揃へ居候間御注文を希上候（營業品目錄は御申越次第進呈仕候）
京城本町一丁目
熊平支店
電話六二番 振替貯金一三二番

總督府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負
伊藤組
本町三丁目 電話四〇番
南大門驛 電話七三二番
大和町 電話九四八番
龍山驛 電話一六〇八番

▲病室落成▲
▲入院隨時▼
時間 每日午前八時より正午迄（日曜及大祭日休）月水金午後四時より六時迄
京城旭町壹丁目六十七番戶（電話六九二番）
一般外科診療 鈴木外科醫院
前大韓醫院外科主任 鈴木讓之助
六百六號注射の如きは獨乙ワツセルマン氏梅毒有無の診斷法を始む

株式會社 百三十銀行 京城支店
電話百九十四番 振替貯金朝鮮五十八番 一三一番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、橫濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、宇田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉
東山道 釜山、彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙台、北方、加納
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新湊
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、太田、倉吉
山陽道 岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、柵原、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、萩山、萩、長府、小月、下之關、明石、津山、姬路、龍野、網干、岩見、西大寺
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、善濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、中津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎
北海道 小樽、函館、札幌、旭川
台灣 臺北、臺南、太泊
樺太
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、馬山、全州、晉州、城津、清州、大邱、大田、新義州、金泉、開城、公州
清國 安東縣、大連、營口、奉天、鐵嶺
其他各銀行一般の業務精々便利取扱可申候

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
院主醫學得業士
中島醫院
中島貞信

入院隨意
內科 外科 小兒病 梅毒 淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
電話（二一六）

公州 芙江 間 定期出帆
芙江發每日午後一時四十分公州着同午後六時
公州發每日午前七時芙江着同午前十一時
芙江の客棧の爲御利用として新聞雜誌其他御便利あり
中餘運送芙江支店

七月中 滿船出帆
二宮丸 屯中行 八月二日前十一時
天草丸 海州行 八月二日前十一時
大敎丸 海州行 八月五日前十一時
海利丸 鎭南行 八月三日前十一時
成敎丸 江湖芝行 八月三日前十一時
合資會社 秋田商會船舶部
京城本町四丁目
電話一七二七五〇番